

暮らし

証明書のコンビニ交付を停止

システムメンテナンスのため、コンビニ交付を停止します。住民票の写しや課税(非課税)証明書などが必要な方は、市民課および課税課へお越しください。ご理解とご協力をお願いいたします。

停止日 6月9日(月)(終日)

※コンビニ交付：マイナンバーカードを利用して、マルチコピー機のあるコンビニエンスストアで、証明書を取得することができません。取得できる証明書などについては、市公式サイトを確認するか、問い合わせください。

問合せ

○課税(非課税)証明書について：課税課市民課係(内)162
○マイナンバーカード・コンビニ交付について：市民課受付係(内)122



詳しくはこちら(市公式サイト)

6月1日(日)～7日(土)は水道週間

市の水道事業について、もっと知ってみませんか。水道事業に対する関心を高めていただくように、水道週間期間中は耐震性に優れた水道管や、雨を地中に浸透させる雨水浸透ますなどを展示します。

また、毎月1日(休日)の場合は翌営業日(は配水塔の見学をすることができません)。

6月の見学日時 2日(月)午前9時～正午、午後1時～5時(受付：午後4時30分まで)
※悪天候時など、見学を中止する場合があります。

会場 第1配水塔(水道事務所)

問合せ 水道事務所 554-2269



介護保険料が年金引き落としに変わる方へ

これまで介護保険料を納付書や口座振替で納付していた方のうち、令和7年6月の年金から引き落としに変わる方へ、5月下旬に、「介護保険料特別徴収(年金引き落とし) 開始のお知らせ」を送付します。

6月、8月の保険料額は、令和6年度所得から仮算出した額です。令和7年度介護保険料は、7月上旬に確定し、決定通知書を送付します。

6月2日(月)が納期限の税金・保険料

令和7年度 固定資産税・都市計画税(第1期) / 軽自動車税(種別割)
問合せ 納税課(内)190



※年金が18万円以上の方は、介護保険料は年金からの引落としになります。

問合せ 高齢福祉介護課介護保険係(内)143

「声の広報」月2回発行

視覚障害のある方などに、広報はむらの音訊(抜粋)CDをお配りしています。発行は広報はむらと同じ、毎月1日と15日です。「声のボランティア桑の実」に協力いただいて作成しています。配布を希望する方は、問い合わせください。

問合せ 秘書広報課広報・シティプロモーション係(内)337

LINE @友達募集中!

市LINE公式アカウントの友だち追加がまだの方は、友だちの追加をお願いします。



【登録方法】

スマートフォンなどでLINEアプリを起動し、次のいずれかの方法で登録してください。
○メニューの「ホーム」から「羽村市」または「@hamuracity」と入力して検索する。
○「友だち追加」から「QRコード」を選択して、左の二次元コードを読み取る。

生きた日本文化を伝えたい

渡部 さん(仮名)



JICA※の海外協力隊員としてブラジルに派遣される渡部さくらさんが、4月10日、市長に派遣のあいさつのため来庁しました。

渡部さんは羽村生まれの羽村育ち。お兄さんがサッカーをやっていたことから、中学生の頃、人気のブラジル人サッカー選手・ネイマールに憧れて、ブラジルに興味を持ちました。そこでアプリを使って自力でポルトガル語の学習を開始。ポルトガル語の歌のような独特の抑揚がすっかり気に入ってしまい、大学でもブラジル・ポルトガル語を専攻、在学中にブラジル留学もしました。実際に訪れたブラジルは「思ったほど暑くなく食べ物もおいしくて、自分にとても合っている」と感じたそうです。

大学卒業後は日本語学校で日本語教育に携わってきました。そして、それらの経験を生かして海外でも日本語を教えたという考え、海外協力隊に応募しました。

日本のポップカルチャーがブームになっているブラジルでは、日系人の日本語学校離れが進む一方、日系ではないブラジル人の日本語学習者が増えているといわれています。ブラジルの日系人は高齢化で少なくなっ

ていますが、日系でなくても日本が好きという人が増えています。私が派遣される語学学校も日系ではないブラジル人が80%くらい。年齢も子どもから成人まで幅広い人たちが日本語を学ぶために通っています。そんな人たちに、日本語教師として日本語や日本文化を伝えたいと思います。お花見や着物、運動会、日本食の料理体験、ポップカルチャーの話などを通じて、生きた日本文化を届けたいです」と渡部さん。ブラジルの日本語学校ヴィトリア日本語モデル校に2年間派遣されます。個人的に楽しみにしているのは「大西洋に面しているヴィトリア市の風景ですね。海の近くは初めてなんです」。帰国後は「地域づくりに関わる仕事や、企業や学校などでの『やさしい日本語講座』などを通じて、羽村市の多文化共生の役に立ちたい」と力強く話してくれました。

渡部さんは、4月28日、ブラジルに向けて出発しました。

※JICA(独)国際協力機構：日本の政府開発援助を一元的に行う実施機関として、開発途上国の経済・社会の発展等を支援している組織

問合せ 秘書広報課広報・シティプロモーション係(内)337

健康管理術

「プレスト・アウェアネス」で乳がんの早期発見を!

問合せ 健康課(保健センター内)内625

【乳がんとは】

乳がんは、日本人女性が罹患するがんの第1位で、女性のがん死亡率の中でも第4位となっています。かかりやすいのは40～60歳代ですが、20歳代後半に発症する方もいます。まれに男性でも発症し、年間約700人が乳がんと診断されています。早期発見・早期治療が重要な疾患です。

【乳がんの発症リスクが高い人】

- 初潮年齢が早い、閉経が遅い
○初産年齢が高い、出産歴がない、授乳歴がない
○家族(特に母・姉妹・娘)に乳がんになった人がいる
○閉経後の肥満、飲酒、喫煙、運動不足といった生活習慣

【プレスト・アウェアネスとは】

乳房を意識する生活習慣のことで、早期発見に繋がります。具体的には、日頃の生活の中で次の4つを行います。

①乳房の状態を知る

着替えや入浴の時など、ちょっとした機会に自分の乳房を見て変化がどうか確認する。

②乳房の変化に気をつける

分泌物(何かが出てくる、乳頭付近の下着肌着が汚れる) / びらん(ただれや赤み、出血がある) / 皮膚の凹みや引きつれ(くぼみ、左右差がある) / 痛み(特にわきの下、乳房の外側上部の痛みが続く) / しこり

③変化に気づいたらすぐに医師に相談する(乳腺外科や婦人科)

④定期的に乳がん検診を受ける
変化がなくても、40歳になったら2年に1回の乳がん検診を受けましょう。健康課では、40歳以上の女性を対象に乳がん検診を行います。詳しくは7ページ、または市公式サイトをご覧ください。

保健センターでは、保健師・管理栄養士による体調や食事、こころの相談に応じています。気軽に相談してください。



令和7年度乳がん検診(市公式サイト)

